



# 対がん協会報

1部70円(税抜き)

第623号

2015年(平成27年)  
5月1日(毎月1日発行)

公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル(マリオン)13F  
☎(03) 5218-4771 <http://www.jcancer.jp/>

主な内容

- 1、2面 RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 決定
- 3面 RFL]キックオフミーティング
- 4、5、8面 2013年度 がん検診の実施状況より

## 2014年度RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 三浦裕司さんと森川直人さんに決定

「リレー・フォー・ライフマイ・オンコロジー・ドリーム(MOD)奨励賞」の2014年度の授賞式が4月27日、東京・千代田区の有楽町朝日スクエアで開かれた。

同賞は米国テキサス大MDアンダーソンがんセンターの協力で、日本の若手医師が同センターで1年間研修を受けるプログラム。対がん協会が各地の実行委員会と共に開催しているチャリティー活動、リレー・フォー・ライフに寄せられた寄付金をもとに、地域のがん医療の充実を図るために2010年度に設けられた。今年で5回目となる。一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトが支援している。

今年度は虎の門病院臨床腫瘍科の三浦裕司医師(40)=腫瘍血液内科=と、岩手医科大学内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科の森川直人医師(42)=呼吸器内科=が受賞した。今年でのべ9人の奨励賞が輩出することとなった。

秋山耿太郎日本対がん協会理事長が二人の受賞を発表、上野直人MDアンダーソンがんセンター教授が奨励賞を



受賞者を囲んで。前列中央左が森川直人氏、その右隣が三浦裕司氏

授与した。

三浦裕司医師は日本では数少ない泌尿器腫瘍内科医のパイオニア。独学に近い形で学んできた。今回RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞に応募したのは、腎がんのすべての苦しみからの人々の解放を目指してのこと。その夢の実現のため、2つの希望を語る。1つは新薬の開発に必要な知識を学ぶこと。もう1つは、がんを抱えた患者さんのより良い生活のサポートをするためにチーム医療を学ぶこと。多くの良い薬の開発により、腎がんの生存期間は2倍、3倍に伸びているが、その間の患者さんのQOLを向上させることが大きな課題だと語った。

森川直人医師は浜松医科大学を卒業

後宮城県で長く働き、その間に東日本大震災にも遭遇。現在は岩手医科大学に勤務しているが、東北では元々の医師不足が震災後さらに深刻になっていると話した。化学療法に精通した医師も少なく、患者さんは長時間かけて基幹病院に通っているという。そのような現状を変えるために、MDアンダーソンで世界の最先端の臨床試験を学び、その

成果を地域でわかち合いたいと力強く抱負を述べた。

続いてリレー・フォー・ライフ・ジャパンのボランティアを代表して堀均氏が、これからがんにかかる人のためにも、ぜひMDアンダーソンで一生懸命学んできて欲しいと激励した。

垣添忠生日本対がん協会会長は、熱心に英語に取り組み、知見を広めるとともに、同世代の医師と積極的に交流して欲しい、その人的ネットワークは、あなた方の一生の財産になるでしょうとエールを送った。

その後、三浦医師、森川医師に同賞2期生の古川孝広医師と上野教授も加わってディスカッションに移った(2面に関連記事)。

**がん相談ホットライン** 祝日を除く毎日  
03-3562-7830

日本対がん協会は、がんに関する不安、日々の生活での悩みなどの相談(無料、電話代は別)に、看護師や社会福祉士が電話で応じる「がん相談ホットライン」(☎03-3562-7830)を開設しています。祝日を除いて毎日午前10時から午後6時まで受け付けています。相談時間は1人20分まで。予約は不要です。

**医師による面接・電話相談(要予約)**  
予約専用 03-3562-8015

日本対がん協会は、専門医による面接相談および電話相談(ともに無料)を受け付けています。いずれも予約制で、予約・問い合わせは月曜から金曜の午前10時から午後5時までに☎03-3562-8015へ。相談の時間は電話が1人20分、面接は1人30分(診療ではありません)。詳しくはホームページ(<http://www.jcancer.jp/>)をご覧ください。

## マイ・オンコロジー・ドリーム (MOD) 奨励賞受賞記念ディスカッション 米国でも類を見ないユニークな賞 夢を忘れずに

**出席者：**三浦裕司 虎の門病院臨床腫瘍科医師  
森川直人 岩手医科大学内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病  
内科医師  
古川孝広 国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科医師  
上野直人 MDアンダーソンがんセンター教授  
**司会：**小西 宏 日本対がん協会マネージャー

**小西** 本日はお集まりいただきありがとうございます。受賞された三浦先生、森川先生、おめでとうございます。上野直人先生、アメリカよりおいでいただきありがとうございます。本日は既に研修を終えた古川先生にもおいでいただいています。古川先生、一言感想をよろしく願います。

**古川** MDアンダーソンでは大変楽しい留学生活を送らせていただきました。ここにいる上野先生が私のメンターとしてサポートしてくださり、大変お世話になりました。おかげで有形・無形の大きな収穫を得ることができました。支援してくださったり、フォー・ライフ・ジャパンの皆様にお礼申し上げます。

**小西** 今回でこの賞も5回目、お二人で9人目の留学となりますが、上野先生、本当のところ、この賞で派遣された先生方の、MDアンダーソン側での評判はいかがでしょう？

**上野** ユニークだと思われています。つまり、留学というのは普通留学中に何を学ぶかという目的が強いですが、この賞は(それに加えて)戻って来てから何をやるかということが大きいのがユニークな点だと思います。第一期生の増田絃子先生の研究が米臨床がん学会でも高く評価された影響も大きいのですが、みんな期待しています。また、対がん協会が運営し、リレーの

お金であるという背景、こういう背景や資金源が明確なアワードはアメリカでも無いと思います。

**小西** アメリカでも無いのですか？

**上野** もちろん様々なグラント(奨学金・助成金)はありますが、このように明確に誰かに投資して、他の国に送ったり、国内留学させたりというのはあまり聞かないです。

**小西** MODはリレーの皆さんの、本当に100円、500円が積みあがっての成果で、それを評価してもらっているのは大変嬉しいです。一方、「アメリカに行って何をやるの?」という声も一部あるので、そこらへん、上野先生の方から語っていただけると。

**上野** 奨学医の研究は一つのがん戦略のパズルの1ピース、1ピースですが、長い目で貢献してくれていると期待しています。

**小西** 古川先生、そういう周りの視線は感じましたか？

**古川** 君はドリーム賞をとったのだから、とは言われましたね。普通のグラントの選定にくらべて、この賞はパッションを評価してくれるところが素晴らしいと思いました。

**上野** 古川先生はまだ知らないと思いますが、実は古川先生の書いたメラノーマの新免疫療法の薬を乳がんに使った臨床治験が、別の大きな治験にも取り入れられることがほぼ決まったところです。

**小西** これはお二人にはすごいプレッシャーですね。いかがですか。

**三浦** さっき、ピースの一つというお話がありましたが、頑張っって強力なピースになれば嬉しいです。

**森川** どういった形で臨床

治験にタッチできるかも一つイメージがわかなかったので、そういう機会が与えられるとわかって嬉しいです。

**小西** ところで、留学先で日本人は大人しいという意見もあります。もっとアピールが必要ですか？

**古川** アピールの仕方にも色々あります。能力を強力にアピールする人もいれば、人間性をアピールする人もいます。私もこんなネタはどうですかと提案して、ダメだね、それじゃとか言われたこともあるけど、やりたい気持ちをアピールすれば機会は与えられます。

**上野** 受け入れのベースラインはありますが、手取り足取りお膳立てはしません。否定することもあるけど、シユンとなると上手くない。無視して先に行けばいいんです。

**三浦** 私もかなりアクティブにやる方だと思います。前例のない分野を選んでいるぐらいですから。でもへこむときは結構へこむタイプです。

**森川** あまり感情を表に出さない方ですが、テンションが上がると力を発揮するタイプなので、テンションを上げて頑張って来たいと思います。

**上野** ぜひお伝えしたいのが、留学は結果論ではないということです。研究の成果はすぐには出ません。でも、例えば困難の解決法やネットワークの構築といったことも、大きな収穫なのです。人と比べず、ぜひ長いスパンで取り組んでもらいたいです。そして、機会があったらぜひアメリカで患者自身のアドボケート(政策提言)活動の何たるかを見て、今後のリレー・フォー・ライフなどにも還元して欲しいと思います。

**小西** 奨学医の皆さんも9名となりました。今後同窓会を立ち上げて、それぞれの得たものを広げていけたらと思っています。

**上野** 研修が始まったら大変だと思いますが、時々原点に立ち返って、夢を忘れずに良い経験をしてください。



右から上野直人氏、森川直人氏、三浦裕司氏、古川孝広氏



# One World, One Hope!

## RFLJキックオフミーティングで2015年度のリレーが開幕

日本対がん協会は4月25日、リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ) 2015年度キックオフミーティングを、東京・文京区の東京医科歯科大学で開催した。

当日は全国各地のRFLJ開催地から大勢の実行委員長らが集まり、2015年度のリレー開幕に向けて、決意を新たにした。

冒頭、垣添忠生日本対がん協会会長が挨拶に立ち、「リレーがチャリティー活動であるという原点に立ち返って、がん征圧のために志を一つにして頑張っていきましょう」と力強く呼びかけた。

続いて、今回のミーティングのためにアメリカ、ワシントンD.C. から来日したアメリカ対がん協会(ACS)グローバルRFLマネージングディレクターのボブ・チャップマン氏が講演を行い、グローバルムーブメントであるRFLの世界的な活動内容や使命について話した。その後の交流会では、今年新たに開催が決まった地域の実行委員なども紹介され、和やかに情報交換が行われた。



心を一つにキックオフ宣言

### RFLイベントの開催予定(5月、6月)

都道府県	開催地	会場	開催日
鹿児島県	鹿児島市	ウォーターフロントパーク	5月 9日(土)～10日(日)
熊本県	熊本市	白川公園	5月 16日(土)～17日(日)
茨城県	つくば市	研究学園駅前公園	5月 16日(土)～17日(日)
和歌山県	和歌山市	和歌山公園砂の丸広場	5月 23日(土)～24日(日)
兵庫県	神戸市	神戸震災復興記念公園 みなとのもり公園	6月 13日(土)～14日(日)
青森県	八戸市	八戸市長根運動公園 陸上競技場	6月 13日(土)～14日(日)
愛知県	一宮市	一宮市総合運動競技場	6月 27日(土)～28日(日)

## リレーの恩恵を世界のすみずみに

ボブ・チャップマン

アメリカ対がん協会(ACS)RFLマネージングディレクター



ボブ・チャップマン氏

みなさんこんにちは。私の住んでいるワシントンD.C.は4月がとりわけ美しい街です。それは日本とアメリカの友情の証である、日本から贈られた数千本の桜が咲き誇るからです。

日本とアメリカはがんの征圧においても科学や頭脳をシェアしてきました。日本対がん協会とアメリカ対がん協会の関係もこの友情の一つのシンボルと言えるでしょう。

がんは、がん細胞が恐竜や古代のヒトの化石からも発見されているぐらい古い病です。がんは国籍を選びません。年齢や、性別も選びません。身体の部位も選ばず増幅していきます。2012年の統計では世界中で新たに1410万人ががんになり、800万人が亡くなっています。このように世界的な負荷を与える病であ

るにも関わらず、なぜがんが起こるのかは、まだ解明されていません。

しかし、希望もあります。がんの中には、肺がん、子宮頸がん、皮膚がんのように予防できるがんもあります。また、早期発見、早期治療により、死亡する人を減らすことができますし、治療方法もわかってきつつあります。これには日本の科学者も大きく貢献しています。3分の1から2分の1のがんは予防できると言われ、そのためには特にタバコ対策が重要です。

一方、発展途上国や貧困地域では若い人ががんで亡くなっています。そのためアフリカの一部などではがんという言葉を口にしないぐらい恐れられています。そこでACSは「健康であることが豊かになれること」と考え、政府にタバコ規制を働きかけたり、世界中の誰もがワクチンを使えるように働きかけています。

患者支援も重要です。私たちは米国の病院やがんセンターの近くに31か所のホープロジというホテ

ルのような宿泊施設を設け、がん患者や家族などが治療に専念できるように無料で提供しています。昨年は34か国から4万3千人が利用しました。この費用もRFLで集められた寄付で賄われており、私たちの大きな誇りです。

日本のリレーで集められた寄付によって、医師をアメリカのがん専門病院に派遣するという、マイ・オンコロジー・ドリームも、日本の皆さんの誇るべき活動だと思います。私たちはこうした治療法の研究開発や、治療環境を整えるというリレーの恩恵を、低所得の人々も含めて、世界のすみずみにまで行きわたらせるのが課題と考えています。そのためには、まず活動を広げることが使命ですし、政治的認知度を上げて、政策提言していくことも大切です。なぜなら、政府がどのようながん対策をしてくれるかによって、われわれの健康は大きく左右されるからです。

リレー・フォー・ライフは現在世界6大陸、6千地域、25か国の人々が参加しています。みなさんは一人ではありません。2015年の活動の成功を祈ります。

# 2013年度 がん検診の実施状況

## 検診受診者1114万2937人 前年度より5万5千人増 増加は4年ぶり

日本対がん協会は、グループ支部の協力を得て、支部が実施した2013年度の「がん検診の実施状況」をまとめた。46支部のうち、がん検診(胃、子宮頸、子宮体、乳、肺、大腸、甲状腺、前立腺、肝胆膵腎の9種類)を実施している42支部の検診実施状況を集計した。

その結果、受診者数は1114万2937人で前年度より5万5594人の増加となった。ここ5年間では09年度の1173万7245人を最高に、2011年3月の東日本大震災の影響もあって、3年連続で減少を続けていたが、4年ぶりに増加に転じた。

今回は胃がん検診の「内視鏡検査」の受診者数も集計しており、この受診者(2万9097人)を差し引くと1111万3840人。それでも前年度からは2万6497人増えた。

受診者が増加した支部は24支部、減少した支部は18支部とやや増加した支部が増えた。地域的な傾向はあまりはっきりしないが、東北の支部で受診者が増加した支部が多かった。

東日本大震災の被災地の東北3県では、2012年度から回復傾向が見られていたが、2013年度は岩手で4万人以上、宮城も昨年度に続き6千人近く増加、福島も2千人近く増加となっ

た。

一般にがん検診の受診者が増えると、発見するがんの数も増えると言われるが、今回発見がん数が増えたのも例外ではないようだ。前年度に比べ6万人以上受診者が増えた乳がんと、約5万5千人増えた大腸がんでは、発見数の伸びが目立つ。

とは言え、この増加傾向が今後も続くかについては予断を許さない。特に今回も受診者が減少した胃がん検診のように、高齢化の影響とみられる減少傾向にどのように対処していくかは今後の大きな課題だ。

	実施団体数	受診者数		前年度比	がん発見数	がん発見率
胃がん※	42	①	2,378,021	-3,783	3,206	0.13%
		②	2,348,924	-32,880	3,178	0.14%
	42	2,381,804		-	3,201	0.14%
子宮頸がん	42	1,322,593		8,693	208	0.02%
	42	1,313,900			337	0.03%
乳がん	42	1,266,151		63,421	2,902	0.23%
	42	1,202,730			2,652	0.23%
肺がん	42	3,018,583		-45,186	1,534	0.05%
	42	3,063,769			1,512	0.05%
大腸がん	42	2,421,988		54,973	4,011	0.17%
	42	2,367,015			3,707	0.16%
子宮体がん	18	28,179		6,047	28	0.10%
	17	22,132			42	0.18%
甲状腺がん	8	18,145		-52,823	6	0.03%
	7	70,968			7	0.01%
前立腺がん	32	375,528		-5,685	1,697	0.45%
	36	381,213			1,852	0.51%
肝胆膵腎がん	22	313,749		29,937	137	0.04%
	22	283,812			138	0.05%
合計		①	11,142,937	55,594	13,729	-
		②	11,113,840	26,497	13,701	-
		11,087,343		-	13,448	-

日本対がん協会支部のがん検診の実施状況(2013年度、それぞれ下段が2012年度)

※「胃がん」と「合計」の①は胃がん検診の内視鏡検査を含み、②は含まない

# 5つのがん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮頸) 肺・胃で目立つ減少傾向 胃は初めて内視鏡検査を集計対象に

国が指針を設けて受診を勧める5つのがん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮頸)については、2013年度の受診者数は合わせてのべ1040万7336人。前年度より7万8118人の増加となった。今回から集計を始めた胃がん検診における内視鏡検査の受診者2万9097人を除くと1037万8239人で、対前年度比4万9021人の増加となった。

受診者が増加した検診は、子宮頸がん、乳がん、大腸がんの3種類。中でも最も増えたのは乳がん検診で、前年度比6万3421人の増加となった。次いで大腸がん検診も前年度より5万4973人増えて242万1988人、子宮頸がんは132万2593人で同8693人の増加となった。

一方、受診者が前年度より減ったのは肺がん検診と胃がん検診で、特に肺がん検診は301万8583人で前年度に比べ4万5186人の減少となり、2011年度も9万人以上減っていることを考えると、この2年で14万人近く減った計算になる。

肺がんや胃がんで受診者の減少が目立つ理由ははっきりしないが、国の配布す

る無料クーポン券の対象になっていないことも影響していると考えられる。限られた予算の中でクーポン券以外にも検診受診を促す、より効果的な手法を検討したり、様々な工夫をこらすことが必要だ。

今回胃がん検診の集計対象に内視鏡検査を含めた理由は、①国立がん研究センターの研究班がまとめた「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン

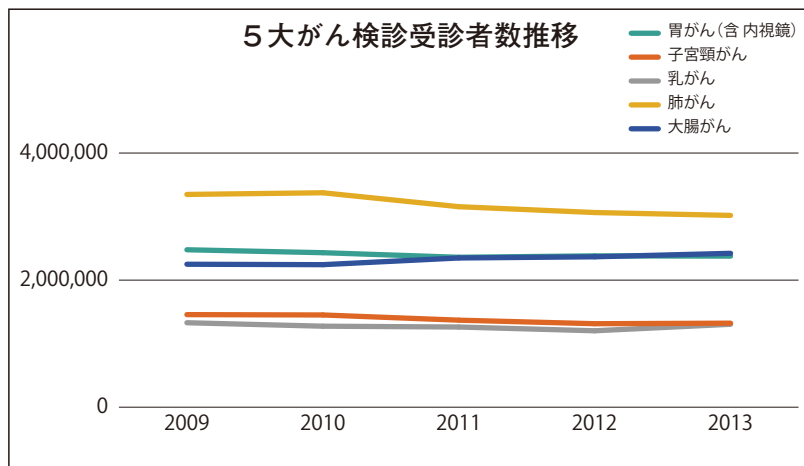
14年度版」で、内視鏡検査を「推奨グレードB」に変更したこと、②人間ドックなどの任意型検診ですでに長く実施されてきたことに加え、一部の住民検診でもX線検査と選択する形で実施されていることなど。各支部の胃がん検診における内視鏡検査の現状の把握と、住民検診や職域検診での広がりや推測することを目的とした。

## 検診別の実施状況一覧

上段が2013年度、下段は2012年度の数値

	受診者数	前年度比	要精検率	精検受診率	がん発見数	がん発見率
胃がん※	① 2,378,021	-3,783	7.56%	80.69%	3,206	0.13%
	② 2,348,924	-32,880	7.58%	80.76%	3,178	0.14%
	2,381,804	-	7.85%	80.77%	3,201	0.14%
子宮頸がん	1,322,593	8,693	1.44%	81.62%	208	0.02%
	1,313,900		1.41%	83.60%	337	0.03%
乳がん	1,266,151	63,421	5.54%	88.43%	2,902	0.23%
	1,202,730		5.84%	89.64%	2,652	0.23%
肺がん	3,018,583	-45,186	2.16%	77.10%	1,534	0.05%
	3,063,769		2.18%	81.61%	1,512	0.05%
大腸がん	2,421,988	54,973	6.28%	68.91%	4,011	0.17%
	2,367,015		5.81%	70.17%	3,707	0.16%
合計	① 10,407,336	78,118	-	-	11,861	-
	② 10,378,239	49,021	-	-	11,833	-
	10,329,218	-	-	-	11,409	-

※胃がん検診の数値は、上段の①にはX線検査と内視鏡検査を合わせた数値を、下段の②にはX線検査のみの数値を掲載している。



## 胃がん検診の検査別の受診者数 (男女別受診者数の合計)

X線検査	2,348,924
内視鏡検査	29,097
合計	2,378,021

(参考)

ABCリスク評価	17,433
----------	--------



## Topics

## あなたのデザイン、そして言葉が、「命」を守ります。 ～「第11回ピンクリボンデザイン大賞」作品募集スタート～



昨年最終審査会にて、審査員の皆さんと公式メッセンジャーのモモ妹

ピンクリボンフェスティバル運営委員会(日本対がん協会、朝日新聞社ほか)は、同フェスティバルの一環として開催するピンクリボンデザイン大賞

の作品募集を、今年も母の日の5月10日からスタートする。乳がんの早期発見の大切さを伝え、検診受診を呼びかけるポスターのデザインなどを公募する。応募者に制作過程で乳がんについて学んでもらい、さらに作品の発信力により啓発を行う狙いだ。昨年は860点の応募があり、今や若手クリエイターらにとっての登竜門として注目されるア

ワードとなっている。

ポスター部門グランプリ受賞者には賞金50万円を贈り、作品はポスター化して東京・神戸・仙台で交通広告として掲示する。自治体にもデザインを無償提供し、受診率向上を図るためのツールとして活用してもらう。

今年、久しぶりに復活するコピー部門では、言葉の力で検診を呼びかけるキャッチフレーズなどを募集する。グランプリには賞金10万円を贈呈する。今年も多数の応募を期待している。

### 「第11回ピンクリボンデザイン大賞」の概要

#### ポスターデザイン部門

- 「ピンクリボンは、運動ではなく、行動です。」  
上記のコピーを使ったポスターデザイン
- 「親子」をテーマとした検診受診を促すポスターデザイン

#### コピー部門

「キャッチフレーズ」または「キャッチフレーズ+ボディコピー」  
言葉の力で検診を呼びかけてください。

募集期間：5月10日(日)～6月30日(火)

応募方法：ピンクリボンフェスティバル公式サイト

(<http://www.pinkribbonfestival.jp/>)のデザイン大賞のページからご応募ください。

協賛：キリンビバレッジ(株)

主催：ピンクリボンフェスティバル運営委員会(日本対がん協会、朝日新聞社ほか)

後援：厚生労働省、東京都、日本医師会



第10回グランプリ作品

## 6月27日開催 ビューティー・ケア・セミナー@マリオン 参加者募集中



美しく並べられたメイク用品

乳がんや子宮頸がんなど、女性特有のがんを経験したり、治療中の人を対象にした美容セミナー「ビューティー・ケア・セミナー@マリオン」が、参加者を募集している。

同セミナーは日本対がん協会が「乳がんをなくす ほほえみ基金」事業

の一環として、資生堂ライフクオリティービューティーセンター(東京・中央区銀座)の協力を得て、2008年からスタートした。

がんの治療によってはしみやくすみ、色素沈着を起こしやすくなったり、抗がん剤治療の副作用で眉が抜けたりすることがある。そんな悩みを持つ人のために、一人一人にあった眉やアイラインの描き方や、肌色をカバーして明るく見せる方法などを教えてくれる。会場では経験豊かな講師が、やさしく丁寧な指導をしてくれて、参加者同士も和やかに情報交換をしあったりとサロンのような雰囲気が好評だ。

レッスン1. コンシーラやファンデーションによる肌色づくりを実習

レッスン2. 標準の眉のプロポーシオンを学び、眉とアイラインの描き方を実習

日程：2015年6月27日(土) 13:30～15:30

会場：有楽町朝日スクエア(東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11階)

定員：12名(定員になり次第締め切らせていただきます)

申し込み締め切り：6月25日(木)

申し込み・お問い合わせは、日本対がん協会美容セミナー係まで。

電話：03-5218-4771

## Topics

# がん患者や家族の希望をのせて 「RFLプロジェクト未来研究助成金」公募開始

公益財団法人日本対がん協会は5月1日付で、日本国内のがん研究を助成する、「リレー・フォー・ライフ(RFL)プロジェクト未来研究助成金」の公募を始めた(協力:日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会)。

この助成制度は同協会が主催する、がん患者・家族の方々を支援するイベント「リレー・フォー・ライフ」を通じて寄せられた寄付を基に設けられ、今年度で4回目となる。将来の画期的ながん治療や、患者のQOL改善に役立つような基礎研究・臨床研究、患者・家族のケアに関する研究に対して、一件当たり最大300万円を助成する。

回を重ねるごとに応募総数も増え、昨年度は過去最多の69通の中から14件の研究を採択した。そこで、今年度は助成総額も昨年までの1500万円から2000万円に増額し、がん患者や家

族など支援者の夢の実現につながるような研究を広く公募する。締切は7月20日。詳しくはリレー・フォー・ラ

イフのホームページ内のプロジェクト未来のページまで。

## RFLプロジェクト未来研究助成金

対象:

〔分野Ⅰ〕基礎研究・臨床研究(がんの発症メカニズムの解明に向けた基礎研究、新薬開発にかかわる基礎・臨床研究等)

〔分野Ⅱ〕患者・家族のケアに関する研究

助成金: 1件300万円を限度とする(総額2000万円以内)。研究が複数年にわたる場合は、年度ごとに申請(最長3年)

応募方法: 希望者はリレー・フォー・ライフのホームページ内のプロジェクト未来のページ(<http://relayforlife.jp/donate/project1>)からダウンロードした申請書に必要事項を記入し、〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル13階 日本対がん協会「プロジェクト未来」研究助成係にお送りください。

締切: 7月20日必着

問い合わせ: 日本対がん協会「プロジェクト未来研究助成」係・中島・岡本  
電話03-5218-4771

## 北海道支部

# 胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号」がデビュー

北海道対がん協会(北海道支部)は、平成27年2月25日付で、新たな胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号」を旭川がん検診センターに配置した。

同協会では、かねてから老朽化した胃・肺レントゲン車の更新整備を計画していたが、この度、公益財団法人JKAの「競輪公益資金による補助事業」より、製作費6,588万円のうち2,205万円の補助を受けて新たな検診車の導

入が実現した。

この検診車は、バスシャーシではなくトラックシャーシを使用し、受診者入口を中央へ移動したことで、更衣室スペースを車内に確保。待合室から検査室までの流れを円滑にしたほか、天幕の設置で雨の日も乗り降りしやすくなった。

また、これまでの胃・肺検診車「しらかば号」は、黄色をイメージカラーとしていたが、この204号は、緑の大地と青い空をイメージしたカラーリングに一新。装いも新たに地域住民の健康保持のため、道北を中心に北の大地を走り回る。がんを早期発見して早期治療をするために定期的ながん検診を受けよう。



しらかば204号



胃部レントゲン装置

### 訂正とお詫び

協会報4月号1面で、がん相談ホットラインについて、祝日、お盆、年末年始を除く毎日、相談に応じていると記載しましたが、祝日、年末年始を除く毎日の間違いでした。お盆は休まず相談業務を行っています。訂正してお詫びいたします。



## 2013年度 がん検診の実施状況から ◇胃がん

## ■支部別受診状況 X線検査 + 内視鏡検査：男女合計

	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検受診者数 (C)	精検の結果					異常なしの人数 (E)	がん発見率 (D/A)	陽性反応 的中度 (D/B)
				がん(D)	がん疑い	がん以外の疾患	異常なし	その他			
北海道	117,221	7,601	6,560	208	3	5,470	657	222	109,620	0.18%	2.74%
青森	83,750	8,095	6,640	79	35	5,520	828	178	75,655	0.09%	0.98%
岩手	117,782	6,329	5,525	135	0	4,325	1,053	12	111,453	0.11%	2.13%
宮城	186,986	11,999	11,248	308	0	9,492	1,448	0	174,987	0.16%	2.57%
秋田	46,155	3,966	3,035	50	14	1,601	1,362	8	42,189	0.11%	1.26%
山形	103,681	9,279	7,643	100	22	5,490	2,031	0	94,402	0.10%	1.08%
福島	96,575	7,658	6,173	107	7	4,444	1,166	411	88,917	0.11%	1.40%
茨城	93,045	8,731	7,114	125	15	6,428	546	0	84,314	0.13%	1.43%
栃木	49,806	5,287	4,365	99	16	3,800	429	0	44,519	0.20%	1.87%
群馬	41,219	3,874	3,343	55	3	2,700	294	4	37,345	0.13%	1.42%
埼玉	40,594	3,144	2,574	54	11	2,071	425	13	37,450	0.13%	1.72%
千葉	146,402	10,348	7,926	184	12	6,976	734	10	136,054	0.13%	1.78%
新潟	156,806	11,642	10,809	575	15	3,879	3,491	2,849	145,164	0.37%	4.94%
山梨	14,221	1,428	1,070	7	1	883	175	4	12,793	0.05%	0.49%
長野	63,964	6,682	5,005	60	0	3,853	904	188	57,282	0.09%	0.90%
富山	42,727	3,374	2,630	79	3	2,330	210	8	39,353	0.18%	2.34%
石川	29,391	3,461	2,746	36	0	2,369	341	0	25,930	0.12%	1.04%
福井	30,390	2,609	2,056	46	0	1,695	315	0	27,781	0.15%	1.76%
愛知	20,940	1,426	953	13	0	723	144	73	19,514	0.06%	0.91%
三重	16,701	968	727	14	0	435	278	0	15,733	0.08%	1.45%
滋賀	14,189	1,093	951	24	1	819	100	7	13,096	0.17%	2.20%
京都	41,553	5,429	3,563	40	0	3,064	310	149	36,124	0.10%	0.74%
兵庫	83,932	3,491	2,240	64	2	1,771	403	0	80,441	0.08%	1.83%
奈良	7,822	447	316	12	15	266	23	0	7,375	0.15%	2.68%
和歌山	20,597	1,784	1,010	12	0	485	215	298	18,813	0.06%	0.67%
鳥取	29,864	2,174	1,482	29	7	1,142	302	2	27,690	0.10%	1.33%
島根	42,390	2,772	1,727	50	5	1,362	307	3	39,618	0.12%	1.80%
岡山	31,046	2,239	1,609	30	5	1,291	175	108	28,807	0.10%	1.34%
広島	24,362	1,497	1,111	27	16	880	117	71	22,865	0.11%	1.80%
山口	33,689	2,699	1,178	18	1	1,001	158	0	30,990	0.05%	0.67%
徳島	27,258	1,930	1,462	29	3	1,291	116	23	25,328	0.11%	1.50%
香川	29,075	2,467	2,317	52	2	2,169	92	2	26,608	0.18%	2.11%
愛媛	52,491	3,133	2,612	43	5	2,103	460	1	49,358	0.08%	1.37%
高知	64,012	2,724	2,187	50	8	811	1,318	0	61,288	0.08%	1.84%
福岡	84,471	5,303	3,978	100	4	3,213	661	0	79,168	0.12%	1.89%
佐賀	25,373	3,056	2,501	36	12	1,915	475	63	22,317	0.14%	1.18%
長崎	29,075	1,825	1,534	23	8	1,207	296	0	27,250	0.08%	1.26%
熊本	52,872	2,636	2,111	40	0	1,808	263	0	50,236	0.08%	1.52%
大分	21,036	2,298	1,992	20	0	1,709	263	0	18,738	0.10%	0.87%
宮崎	35,563	2,137	1,847	46	1	1,246	528	0	33,426	0.13%	2.15%
鹿児島	96,285	9,387	8,330	116	18	7,223	973	0	86,898	0.12%	1.24%
沖縄	32,710	1,436	931	11	2	525	131	225	31,274	0.03%	0.77%
合計	2,378,021	179,858	145,131	3,206	272	111,785	24,517	4,932	2,198,163	0.13%	1.78%